

(様式 1-3)

宮古市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	43	事業名	千鷲地区漁業集落防災機能強化事業	事業番号	C-5-6
交付団体	岩手県		事業実施主体 (直接/間接)	宮古市 (間接)	
総交付対象事業費	292,500 (千円)		全体事業費	262,500 (千円)	
事業概要					
<p>被災した住宅を背後の安全な高台へ移転し、浸水部分も含め避難体制を強化する集落道路の整備、水産飲雑用水施設整備、集落排水施設整備、緑地広場施設整備を合わせて実施する。なお、宮古市東日本大震災復興計画 基本計画 第 5 地域別復興まちづくりの方向性 (3) 重茂地区にて、まちづくりの方向性を以下のように記載している。</p> <ul style="list-style-type: none">・既存集落内の低利用地や背後地等を活用するなど、これまでのコミュニティの継続に配慮しながら安全で安心して暮らすことのできる住宅地の整備を進める。・被災した漁港施設や防潮堤の復旧を進め、地域の産業基盤である水産業の復活を目指すとともに、本州最東端という立地特性や豊かな自然を活かした交流人口の増加を図る。・防潮堤など海岸保全施設の復旧を促進するとともに、周辺地域とのアクセスの向上を図るなど災害に強い道路整備を促進する。 <p>【事業間流用による経費の変更】 (令和元年 10 月 7 日) 事業費精査により工事費等の額が減額したため、釜石市 C-5-6 漁業集落防災機能強化事業 (新浜町) へ 30,000 千円 (国費 : H23 繰越予算 22,500 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 292,500 千円 (国費 : 219,375 千円) から 262,500 千円 (国費 : 196,875 千円) に減額。</p>					
当面の事業概要					
<平成 24 年度> 測量調査設計・用地取得・物件補償・不動産鑑定・造成工事・道路工事					
<平成 25 年度> 造成工事・道路工事					
東日本大震災の被害との関係					
<p>防潮堤がなく、地区一面に津波が押し寄せた。浸水面積は 11.5ha にわたり、浸水高は TP+14 ~31.2m となり、最大浸水深が 18.3m に達した。浸水区域内の建物 (住宅以外も含む) の 71.8% が流失または撤去となる被害を受け、千鷲小学校も浸水した。</p> <p>このため、災害時も孤立することのない自立した純漁村を形成するとともに、津波被害を受けない安全な場所を確保して住宅地の整備を行う。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
なし					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

宮古市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	69	事業名	まちづくり連携道路整備事業 (主) 重茂半島線 石浜	事業番号	D-1-4
交付団体		岩手県	事業実施主体 (直接/間接)	岩手県 (直接)	
総交付対象事業費		1,720,000 (千円)	全体事業費	1,681,515 (千円)	
事業概要					
<p>東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた石浜地区の市街地内を通過する主要道路である (主) 重茂半島線 (石浜) の道路整備を行う。</p> <p>(主) 重茂半島線 (石浜) は、水産業 (石浜漁港) を中心として市街地を形成しており、生活道路としての役割はもとより、物流路線としての機能も有している。</p> <p>今回の津波により、県道が浸水し、家屋が流失するなどの被害が生じたことから、当地区の高台移転とあわせて浸水区域を回避した災害に強い延長 0.7km の 2 車線道路を整備する予定である。</p> <p>現状は、概ね道路設計が完了し、平成 26 年度から用地取得に着手し、平成 31 年度までの事業完了を目指して関係機関と調整し整備を進める予定である。</p> <p>【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16</p> <ul style="list-style-type: none">・多重防災型まちづくり推進事業 (まちづくり連携道路整備事業) <p>道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施</p> <p>【事業間流用による経費の変更】(令和元年 5 月 10 日)</p> <p>工事費精査により事業費が減額したため、陸前高田市 D-1-5 まちづくり連携道路整備事業 (久保～泊) へ 30,000 千円 (国費: H27 繰越予算 24,750 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 1,720,000 千円 (国費: 1,419,000 千円) から 1,690,000 千円 (国費: 1,394,250 千円) となる。</p> <p>【事業間流用による経費の変更】(令和元年 10 月 7 日)</p> <p>工事費精査により事業費が減額したため、大船渡市 D-1-8 まちづくり連携道路整備事業 (末崎～基石) へ 8,485 千円 (国費: H27 繰越予算 7,000 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 1,690,000 千円 (国費: 1,394,250 千円) から 1,681,515 千円 (国費: 1,387,250 千円) となる。</p>					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<p><平成 27 年度>用地補償、工事等</p> <p><平成 28 年度>用地補償、工事等</p> <p><平成 29 年度>工事等</p> <p><平成 30 年度>工事等</p> <p><令和元年度>工事等</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>・東日本大震災津波により被害を受けた石浜地区において、宮古市の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	